

令和4年度 西蒲区社会福祉協議会 基本方針・重点目標

【基本方針】

我が国では、人口減少や少子高齢化が急速に進展するとともに、雇用形態、家族形態の変容や生活の多様化・価値観の変化により、単身世帯の増加、人間関係の希薄化などの傾向が顕著になっています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、貧困、非正規雇用、孤独・孤立などの社会問題も表面化しており、共通して「社会的孤立」の解消が大きな課題となっています。

このような状況を踏まえ、新潟市社会福祉協議会の指標である「新潟市社会福祉協議会福祉ビジョン2021」及び「西蒲区地域福祉活動計画（2021～2026）」具現化に向けて、「これからの地域福祉を担う人材の育成」「一人ひとりの生きづらさへの多角的な対応」「より張り巡らせた福祉ネットワークの構築」に資する事業展開を行い、地域の福祉の「網目」をより細かくし、孤立しない地域づくりを地域住民・関係諸機関とともに進めていきます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響下、これまでの日常生活の変化を余儀なくされた状況においても、創意工夫を凝らして住民同士がつながり続ける地域福祉活動を支援していきます。

さらに、国際的には豊かで活力ある未来を創る「持続可能な開発目標（SDGs）」が示され、このSDGsの「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現は、新潟市社会福祉協議会がこれまで進めてきた歩みや「地域共生社会」の実現につながるものであり、SDGsの17の目標における取り組みを意識し、事業展開いたします。

【重点目標】

1. 住民主体の支え合う社会の実現

地域福祉活動計画の実現に向け、地域に関わる多様な構成員と協働し取り組みを進めるとともに、地域共生社会の実現を進めます。

2. 地域福祉活動の担い手育成

地域福祉の担い手となる人材の育成に向け、地域に関わる多様な構成員と協働して取り組みを進めます。

3. 地域の中で自分らしく暮らせる仕組みの構築

「社会的ひきこもり」や「8050問題」といった生きづらさを抱える方やその家族の問題に対し、多機関協働による課題解決のための取り組みをさらに進めます。

4. より張り巡らせた福祉ネットワークの構築

一人ひとりの困りごとについて、感度を高くした身近な地域で気づき、専門職へつなぐ福祉ネットワークを構築するため、本会が持つプラットフォーム機能を有効活用し、既存の社会資源・ネットワークとの連携・連動を一層強化していきます。